** 2020年11月　（第10版）
＊ 2017年7月　（第9版）

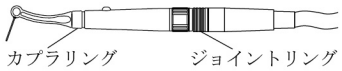
認証番号　21900BZX00751000

機械器具55　医療用洗浄器
管理医療機器　歯科根管内洗浄吸引乾燥装置　JMDN：70711000

# クイックエンドＳＩＴ

**【警告】**

＊ 1. 本製品の使用中には絶対にクイックジョイントのジョイントリングおよびハンドピース部のカプラリングを後方に引かないこと。［本体やヘッド部の外れによる怪我をまねく恐れがある］




** 2. 患者ごとに、指定する方法および条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。［感染予防のため］

**【禁忌・禁止】**

＊ 1. スリムインサートチューブは再使用しないこと。［単回使用を想定しているため］
2. クリーニングボタンを押した状態で根管内の加圧による洗浄・乾燥を行わないこと。［気腫などの偶発症を引き起こす恐れがある］
3. 洗浄・吸引・乾燥時に根管の奥までスリムインサートチューブを差し込みすぎないこと。［根管壁にスリムインサートチューブが密着すると吸引効率が著しく低下したり、吸引圧により根尖組織に損傷を与える恐れがある］

**【形状・構造及び原理等】**

**＊ 体に接触する部分の組成**

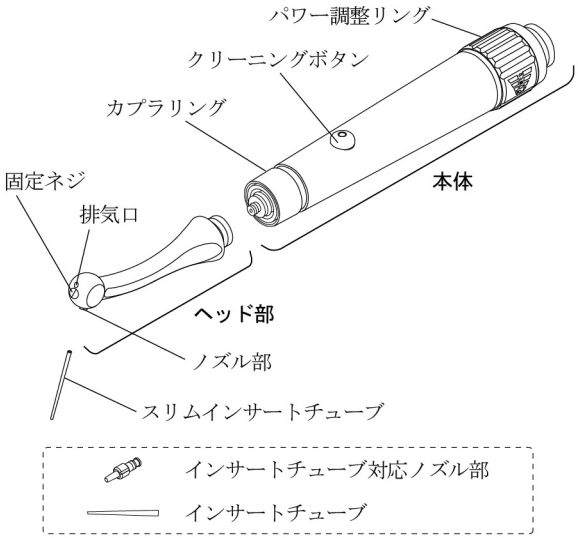
**・ステンレス鋼**
本体
ヘッド部

**・ポリエーテル・エーテル・ケトン**
スリムインサートチューブ

**・ポリプロピレン**
インサートチューブ

**＊ 形状**

（点線内はオプション）




**作動・動作原理**

ヘッド部の負圧発生機構で圧縮空気によって負圧を発生し、この負圧を利用して根管内の洗浄・乾燥を行う。

**仕様**

手元圧力：0.2～0.4MPa（2.0～4.1kgf/cm$^2$）
吸引量：20mL/min（スリムインサートチューブなし）

**【使用目的又は効果】**

**使用目的**

本製品は歯科医師が歯科治療において、患者の根管内を乾燥させるため、能動型機器に接続し、根管内の洗浄及び水分等の吸引除去に用いる。

**【使用方法等】**

**使用方法**

**1. 使用前準備**
1. 本体のカプラリングを後方に引いた状態でヘッド部を本体に差し込む。
2. スリムインサートチューブをノズル部に差し込む。
3. 本体後部へ歯科用ユニットより延長するホースを接続する。当該ホースは歯科用ユニットよりエアータービンあるいはエアーモータ等の切削器械に圧縮空気および水を供給するホースである。

**2. 洗浄・吸引方法**
1. フットコントローラーを操作し、スリムインサートチューブの周囲から注水を行い、先端から吸引を開始する。
2. 根管内にスリムインサートチューブを挿入し、洗浄・吸引を行う。吸引の際にはヘッド部先端の排気口にバキュームチップをあて、排気口より排出される吸引物を回収する。
3. スリムインサートチューブを根管の中で少し上下に動かし、洗浄を行う。
4. 吸引圧が高い場合や排気をバキュームチップで吸引しにくい場合は、パワー調整リングの回転操作でパワー調節を行う。

**3. 吸引・乾燥方法**
1. スリムインサートチューブを根管内に挿入し、フットコントローラーを操作して圧縮空気のみを供給する。
2. スリムインサートチューブの先端より吸引が開始されるので、ヘッド部先端の排気口にバキュームチップをあて、排気口より排出される吸引物を回収し、根管内を乾燥させる。
3. 吸引圧が高い場合や排気をバキュームチップで吸引しにくい場合は、パワー調整リングの回転操作でパワー調節を行う。
4. 使用後に綿栓にて乾燥状態を確認する。

**4. ワンプッシュ・クリーニング方法**
1. スリムインサートチューブおよびヘッド部の排気口をスピットンに向ける。
2. フットコントローラーを操作して、本体のクリーニングボタンを押すことにより、吸引物を排出する。

**＊ 5. オプション品の使用**

詳細については、オプション品（別売）付属の医療機器添付文書または取扱説明書を参照し、その内容に従うこと。

**使用方法等に関連する使用上の注意**

1. 本製品にクイックジョイントを接続する時、ロック音がして確実に固定されたことを確認すること。また、ヘッド部、スリムインサートチューブがしっかりと固定されていることを確認すること。
2. 本製品の設定圧力はパワー調整リングをパワー最大にした状態で、手元圧が 0.4MPa(4.1kgf/cm$^2$)［ノーバックシステム装着時は 0.48MPa(約 4.9kgf/cm$^2$)］を超えないように設定すること。
3. スリムインサートチューブは専用品を使用すること。
＊ 4. チューブにはスリムインサートチューブとインサートチューブ（オプション）がある。それぞれに対応したノズル部に取り付けて使用すること。
5. スリムインサートチューブは下記の場合破損し易い状態になり、怪我などをまねく可能性があるので速やかに新しいスリムインサートチューブと交換すること。
・割れ、折れ曲がりなどの破損、変形を生じたスリムインサートチューブ
・先端部を細く改造、変形させたスリムインサートチューブ
6. 根管内にスリムインサートチューブを挿入しているときには、絶対にクリーニングボタンを押さないこと。
7. スリムインサートチューブの脱落・破損による誤嚥などを防止するために、ラバーダム防湿法や治療中は患者に鼻呼吸をさせるといった対策を行うこと。
8. クリーニングボタンを使用する際は、スリムインサートチューブおよびヘッド部の排気口をスピットンに向けること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

** 9. 光源がある場合は、ユニットのオプチカスイッチを切ること。
10. 使用時には必ずバキュームを併用すること。

**【使用上の注意】**

**その他の注意**

＊ 1. 使用前にアルコール清拭およびオートクレーブ滅菌を行うこと。

**【保管方法及び有効期間等】**

**保管方法**

1. 十分に乾燥させて保管すること。

**耐用期間・使用期間**

製造出荷日から、正規の保守点検を行った場合に限り 5 年とする。ただし、消耗品については使用頻度によって 5 年以内の交換が必要となる。
［記載の耐用期間は、自己認証（当社データ）による］

**＊ 消耗品**

| | |
|---|---|
| 1 | スリムインサートチューブ |
| 2 | インサートチューブ |
| 3 | Oリング（本体） |

**【保守・点検に係る事項】**

**使用者による保守点検事項**

** 1. 患者ごとに、指定する方法および条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。
2. 滅菌前および診療終了後には本体の水抜きをすること。
3. 注油を行わないこと。
＊ 4. 本体を流水洗浄する場合は、ジョイント部に水が入らないように注意すること。
＊ 5. 最高滅菌温度は摂氏 135 度のため、オートクレーブ滅菌器の設定は摂氏 121 度で 20 分、または摂氏 132 度で 15 分とすること。
6. 薬品が付着している器具とは一緒に滅菌器にかけないこと。
＊ 7. 消毒液の中に本体、ヘッド部をそのままつけないこと。
8. 消毒の際には、アルカリ性の消毒剤および酸化電位水（強酸性水、超酸性水）を使用しないこと。
9. 乾熱滅菌は高温のため、本体の故障や破損の原因となるので避けること。
10. 滅菌器の状態や滅菌方法によっては、本製品が変色する場合がある。
11. 毎回診療後に排気口をバキュームチップに向けてスリムインサートチューブより水を吸引し、回路内を洗浄すること。
12. 滅菌終了後、ヘッド部および本体を十分乾燥させること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

** ＊ **発売元**
**株式会社ヨシダ**
〒110-8507　東京都台東区上野 7-6-9
TEL 0800-170-5541（ヨシダコンタクトセンター）
03-6880-2155（携帯電話からの場合）
**製造販売元**
**株式会社ミクロン**
〒146-0082　東京都大田区池上 2-17-7
TEL 03-3755-0396（代）　　FAX 03-5747-5396
**製造元**
**株式会社ミクロン**